

当院 EICU に入院された患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	敗血症性 DIC の予測因子としての血清 IL-6 値の研究
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	（所属）救命救急科 （職名）助教 （氏名）加藤浩介
研究の対象となる方	敗血症または敗血症性ショックと診断され、2022 年 10 月から 2024 年 7 月までに当院 EICU に入室された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 発症早期の炎症反応の強さを示す血清インターロイキン 6 (IL-6) 値と、体内で血液を固めたり溶かしたりする機構が感染の影響で破綻して生じる敗血症性播種性血管内凝固症候群 (DIC) 発症の関連を調べることを目的としています。 〔利用方法〕 診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、透析の有無、ステロイド使用の有無、抗 DIC 療法の有無を収集します。 収集内容を統計的に解析し、血清 IL-6 と敗血症性 DIC の関係を検討いたします。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、透析の有無、ステロイド使用の有無、抗 DIC 療法を収集します。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028 年 2 月 28 日までに窓口での受付、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てくだ

場合	さい。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 救命救急科 担当者：(職名) 助教 (氏名) 加藤浩介 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 35365)